

つばきの郷だより

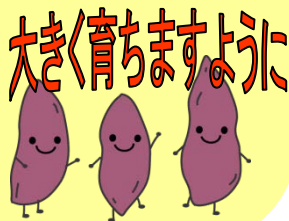
25年7月

梅雨明けも間近ですが、まだまだじっとりと蒸し暑い日が続きますね。
7月といえば七夕です。この七夕の発祥は中国で、織女牽牛の伝説と裁縫の上達を祈願する乞巧奠(きこうでん)が混ざり合ってきたものとされています。のちに遣唐使などが日本に伝え、江戸時代には書道学問の上達を祈願する行事となったとか。短冊に願いを書くのはその名残なのでしょうか。今年の七夕はきれいな星空が見えるといいですね。
それでは、6月のつばきの郷の様子をご紹介します。

サツマイモを植えました



6月の初めに施設内の畑にサツマイモの苗を植えました。毎年恒例のこの行事、大豊作の年もあればイマイチの年もありましたが、今年はどうなるのでしょうか？
収穫の秋が楽しみです。



お誕生日おめでとう！



6月生まれの方のお誕生会を催しました。職員からはお祝いの色紙とお花をプレゼント、そしてお客様からはお返しに御立派な御礼の言葉を頂戴しました。
いつまでもお元気で過ごして下さい。



ダンス！ダンス！



毎月恒例のダンスの慰問
今回は、いよいよ間近に迫ったお祭りの季節に合わせて「大花火音頭」を披露して下さいました。長岡ではお馴染みのこの唄、大層好評で一緒に手振りや踊っておられる方もいました。また、一緒にストレッチで体をほぐしたり皆で一緒に踊ったりと、楽しい時間を過ごしました。



暑中お見舞い申し上げます



梅雨が明けると、また暑さ厳しい夏がやってきます。例年同様つばきの郷では、熱中症が発生することがないよう万全の注意を払っていきたいと思います。皆様もお体に気をつけて、良い夏をお過ごしください。